

北斗七星・カシオペア早見ばんの作り方



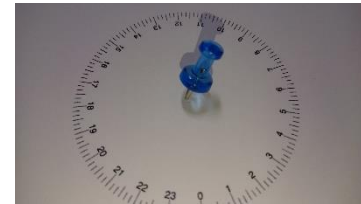
- ①用意するもの
 ・印刷用のペーパークラフト用紙
 (100円ショップに売ってます)
 ・画びょう
 ・クリップ
 ・セロテープ
 ・カッターナイフ
 ・ハサミ



- ②星空のばんにある北極星をさがします。
 画びょうで北極星にあなをあけてください。ケガをしないように注意してね。



- ③カッターナイフで“切りぬく”と書いている部分を切りぬきます。
 カッターナイフでケガをしないように大人の人に使い方を教えてもらい、見てもらいながら切ってください。
 丸い円ばんの外側にそって、丸くハサミで切ってください。



- ④白い台紙の真ん中にある点の部分に画びょうをさして、あなをあけてください。
 白い台紙の外側の線にそって、ハサミで切ってください。



- ⑤クリップの外側の部分を、たてに伸ばします。



- ⑥白い台紙の裏側から、クリップを差し込みます。
 この時、クリップが入りにくい場合はつまようじであなを大きくしましょう。
 最後にセロテープで止めます。



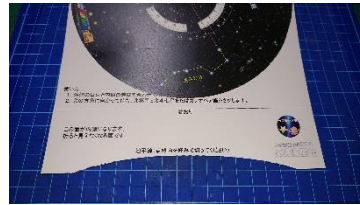
- ⑦裏返すと、写真のようにクリップの先端が出ています。



- ⑧ここに星空の盤を差し込みます。
 穴が小さい時は、つまようじであなを大きくして通します。



- ⑨最後に、クリップの先をまげて、倒してください。
 星空のばんが、くるくる回ることを確認してください。



- ⑩白い台紙の下部分の“谷おり”の部分をもっすぐに谷折りしましょう。



- ⑪谷おりです。



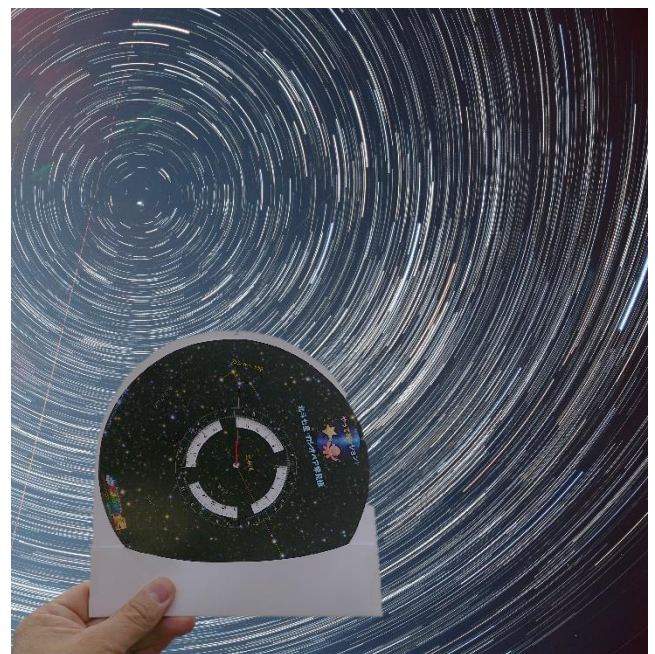
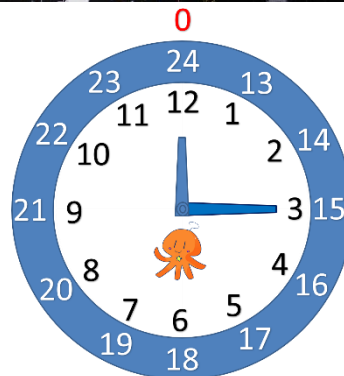
- ⑫最後に、両はしをセロテープでとめます。
 これで完成です。

白いところに風けいを描こう。
 (北にある建物や山の形など)



☆使い方☆

月日と時間をあわせよう!!
 ①今日の日にちを見つけます。
 写真は4月10日の夜の8時になっています。
 夜の8時は20時なのです。
 下の図を見てね。



北斗七星・カシオペア早見ばんを作ろう!!

はじめての星空観察、星座早見ばんを使って調べてみたいけど、
星が多すぎてよくわからないよ。
そんな時には、北の空から観察を始めると見つけやすくなるんだ。

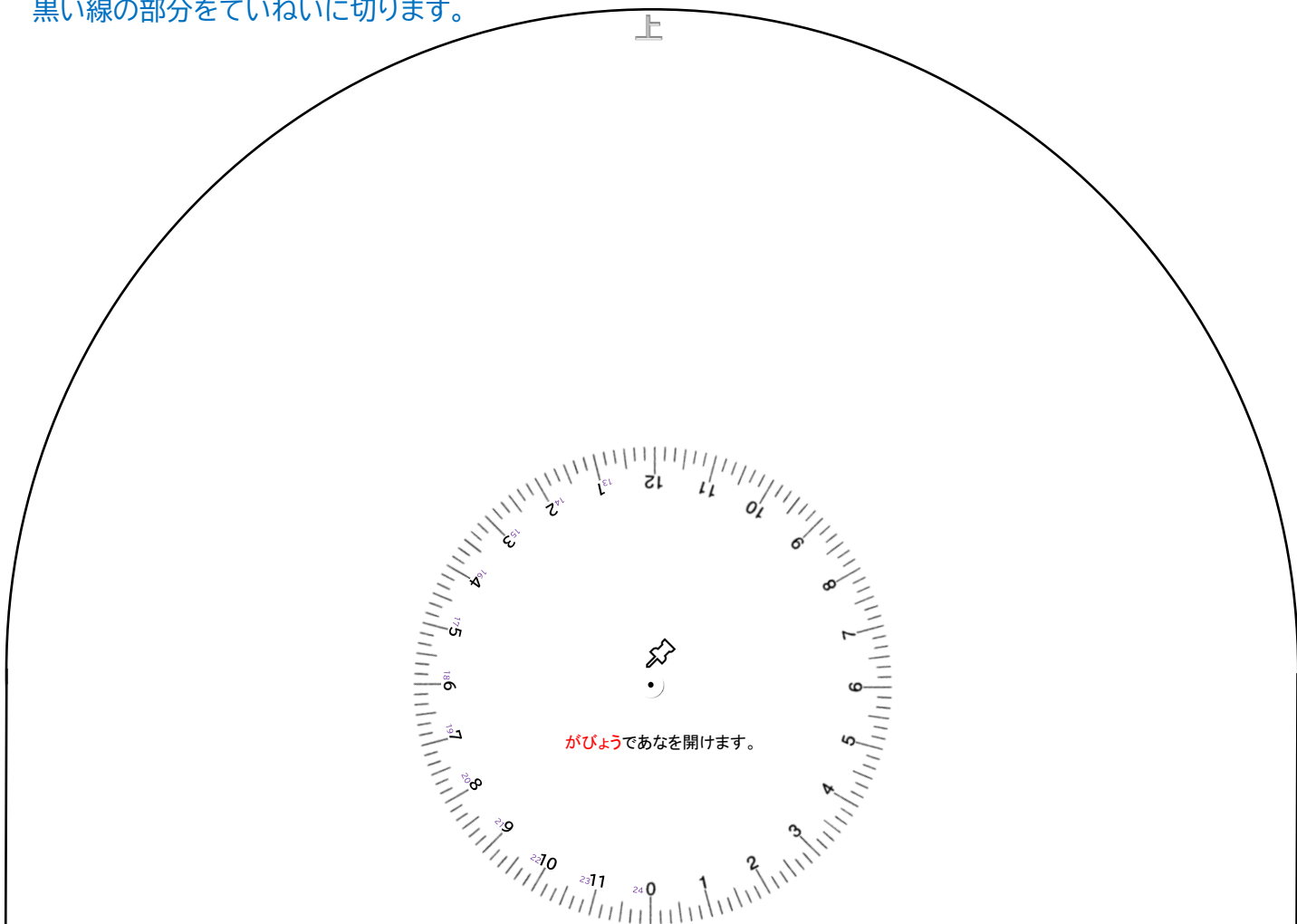


みんなも名前なら知っているかもしれない、北斗七星とカシオペア座。
この北斗七星・カシオペア早見ばんは、北の空に一年中見ることが出来る二つの星のつながりを見つかるための特別な早見ばんなんだよ。
北斗七星はおおぐま座のしっぽの部分で、とても見つけやすいんだ。季節は春から夏が見つけやすいよ。
カシオペア座は秋の星座なんだけど、アルファベットのWに見える季節やMに見える季節があるんだ。
季節によっては、カシオペア座も北斗七星も両方見えることもあるんだよ。
この二つを見つかることが出来たら、北極星も見つけることができるんだ。
まずは方位じ石で北をしらべて、北斗七星からさがしてみよう!!
見つかったら次は、北極星をさがしてみよう!!
どう? 見つかった?
楽しくなるね。

✂ 丸く、ていねいに切ります。



黒い線の部分をていねいに切ります。



使い方

- 1. 外側の日付と内側の時間を合わせます。
- 2. 北の方角に向かって持ち、北極星と北斗七星またはカシオペア座をさがします。

谷おり

この面が内側になります。
折ると見えなくなる面です。

地平線(点線内を好みで切ってください)



大分市生涯学習施設
関崎海星館